

## 校長講話

昨日の1年生を迎える会は、6年生が中心となって企画してくれました。心温まる会で、1年生も呼びかけや歌をしっかりと発表できて立派でした。

### T君とお母さんのお話

T君は、長野の中学校の時に担任した男の子で、心臓に病気がありました。T君は走ることはできませんが、ゆっくり歩くことはできます。みんなと違ってできないことがたくさんあった中学校生活でしたが、楽しく充実した学校生活を送っていました。どうしてかという、彼や、周りの友達が「みんなと違うところがあるけれど、人は人。自分は自分。できることのできることはいい。」と考え、行動することができたからだと思います。彼が学級にいたからこそ「違うことは特別なことではない」ということを実感として受け止めることができるようになっていきました。



昨年子どもたちに紹介した金子みすずさんの「私と小鳥とすずと」も同じです。学校は集団生活です。同じにしなければならないことがあり、その大切さも学びます。みんなと同じに取り組むからこそ得ることができる喜びも学びます。そんな中で一人一人の違いを受け止めて認めていけるクラス、学校でありたいと思います。

T君が明るく生活できたのは、お母さんの育て方も大きく影響したと思います。お母さんは、「わが子が社会に出たとき、自立した一人の人間として生きていけるように」ということを願って育ててきました。

親、教師、大人は、「子どもが社会に出たとき、認められ、必要とされ、愛され、社会に役立つ人間に育てる」という大切な役割があることをT君のお母さんから改めて教えられました。

### お知らせ

- 戸倉小学校コミュニティスクールを発足させる準備をしています。コミュニティスクールとは、地域と学校が一緒になって子どもたちを育てていきたいと思います、ということです。ボランティア募集のお知らせを地域と保護者の皆様にお配りします。ご協力をお願いします。
- 読み聞かせボランティアを募集しています。戸倉小学校では、朝の読書の時間を位置付けるなど、読書を大切にしています。子どもたちがさまざまな方とのかかわりの中で、さらに本の世界に親しむことを目的に、保護者有志の方による読み聞かせの会を設けたいと考えています。ご応募をお待ちしています。
- 学力の向上を目指した戸上プロジェクトについてです。戸上地区小中5校が連携して「学習の約束」を作成し、足並みそろえて学習の指導をしようというものです。これにより中学1年生が4月からの中学校の生活や授業にスムーズに移行できることを期待しています。